

Argentina TANGO live in CHAPEL



アリエル・アッセルボーン
Guitar

1976年アルゼンチン、ブエノスアイレス郊外のカセーロス地区出身。

1997年自身のNuevo Trio Argentinoとともにコスミン音楽祭の未発表作品部門に出演。自作の歌[Lairar]でファイナリスト。また翌年、バラデロ音楽祭の男性ボーカリスト部門とインストゥルメンタル部門にて同時優勝。
1999年より4年間、アンデス音楽グループ Los Laikas にチャランゴ奏者として所属。二度の来日公演と2枚のアルバムを録音。2003年より日本に拠点を移してギタリスト作曲家、シンガーソングライターとして活動を開始。

これまでに自作品を中心に2枚のソロアルバム[時には一輪の花を][大地に眠る歌]を発表。歌曲の多くは詩人レイナルド J.ブリグノネとの共同によるもので、南米の大地、人々、心の原風景を伝えている。各アルバムは、レコード芸術、CDジャーナルなどの音楽誌面で高い評価を得ている。

クラシックギターの技法をイルマ・コスタンソ、セルヒオ・モルダスキ、高田元太郎らに師事。ソロ演奏のほか、様々な音楽家との共演ほか、南米音楽に関連した講演、ギター教授など幅広く活動中。

<http://arielasselborn.com/index.html>



サヤカ
Vocal

東京都出身。
上智大学卒業。幼児期より北米、中南米で育つ。

1996年より英語及び異文化講師を務めながら独自のペースで国内外でのタンゴフェスティバルへの出演、ライブ活動を続ける。

2002年、タンゴに本格的に取り組むため、ブエノスアイレスへ移住。ピアソラの元夫人アメリタ・バルタール、ギジェルモ・フェルナンデス、パトリシア・アンドラーテリディア・ボルダ、ノラ・ファイマンに師事し、歌唱法や詞の読解を学ぶ。

2006年、ブエノスアイレスにて初のソロアルバム[Cada vez que me recuerdes]をディエゴ・スキーシー(ピアノ)等アルゼンチン実力派ミュージシャン達を迎えて制作。同年10月アルゼンチンのタンゴレーベル(エプサ・ミュージック)と契約、アルバムをリリース。
2009年3月、[2x4 Tokio]で、第8回世界タンゴサミット[バリローチェ、アルゼンチン]出演。

しばらくの音楽活動休止後、2011年よりコンサート、ライブ活動を再開、現在に至る。

http://www.sayaca.com.ar/index_jp.html



青木菜穂子
Piano

東京都出身。
武蔵野音楽大学ピアノ科卒業後アルゼンチンに渡りニコラス・レデスマに師事。

2年間現地の私立楽団[オルケスタ・エスクエラ・デ・タンゴ]のピアニストとしてTV・Radio等様々な場で演奏。
帰国後自己のグループを率いて活動しその後も毎年渡亜。世界各国の国際音楽祭に出演し国内外の音楽家と幅広く共演。自己作品は[ティエラケリータ][ブエノスアイレス・ミ・レフーヒオ]を現地録音、発表。

2008年オルケスタ・アウロラを結成 [フェルト・ア・フェルト][パボ・エル・シエロ・デ・ブエノスアイレス]を[Latina]よりリリース。

これまでに加藤登紀子、あがた森魚、杉本彩、アリエルアッセルボーン、マイケル・アレン・ハリソン等と共演、またモラ・ゴドイ監修のショーにも参加する。

2009~2011年はアメリカ・フランス・アルゼンチン・カナダ・ウルグアイ等で公演、力強さと繊細さをあわせもつ鍵盤で定評を得ている。

<http://celeste.coplan.jp/>

2012年3月25日(日)
開場15:30 開演16:00

前売・予約 3,000円
当日 3,500円

■会場 下北沢 東京都民教会
TEL.03-3412-3952
155-0033世田谷区代田5-35-2

■主催・お問合せ
office 音符 otonofu
TEL. 080-5431-5393 [担当スエモリ]
<http://ameblo.jp/mugichan-daisuki>

